

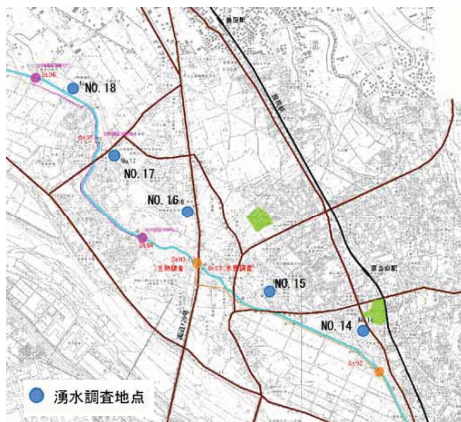
## 八瀬川の湧水

ワークショップの中で、八瀬川の源流である湧水の保全を希望する意見が多く出されています。相模原市は、平成19年度準用河川八瀬川基礎調査において、湧水の調査を実施しました。ここでは、調査を行った主な湧水について紹介します。

### ◇全体的特徴

全ての地点において、良好な水質が保たれていることが分かりました。また、これらの湧水は浅い地層からの水が湧き出ていると思われ、湧水を保全するためには、相模原市域の浸透域をできるだけ保全することが望ましいと考えられます。

また、湧水の付近は、草木が生い茂っていることが多く、人目につかないため、ゴミが投棄され散乱している場所もあり、適切な維持管理が必要です。



No.14  
奥は二手に分かれ、右側の沢に道路側溝の水が流入してゴミが多い。



No.15  
公園脇の沢で元ワサビ田、セキショウが多い。



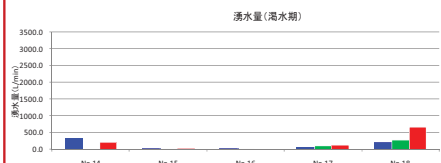
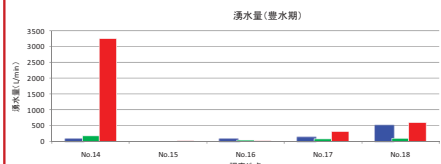
No.16  
湧水を引水したのか風呂桶やパイプが放置されており、その他のゴミも見られた。



No.17  
湧水地点は石組みで保護されているが、少し下流部は泥の堆積が進んでいる。道路から投棄されたゴミが散乱していた。



No.18  
古いゴミが落ちている。カキやハランなど人為的な植生が見られる。



※H19以外の年のデータは以下に準じる。H10：相模原市自然環境基礎調査報告書 H10年、H15：相模原市湧水調査部会調査(H14～H17)

お問い合わせ先

相模原市都市建設局土木部河川整備課 (担当：山口)

〒229-8611 相模原市中央2-11-15

TEL：042-769-8273 FAX：042-769-5822

## 第5回八瀬川ワークショップ

10月19日(日)に開催しました!



### 1. 第5回ワークショップの目的

第5回ワークショップでは、これまでに確認してきた八瀬川の各ゾーンの現状を踏まえて、班ごとに具体的な整備計画案をまとめることを目的とし、事務局が示した平面図及び横断図の案を参考にしながら検討しました。

### ワークショップのスケジュール

回	日程	内容
第1回 終了	5/31	H19年度基礎調査結果の報告 八瀬川の現況イメージの作成
第2回 終了	6/15	八瀬川現地調査 現況特性カルテの作成
第3回 終了	7/26	道保川等他河川見学 他河川カルテの作成
第4回 終了	9/7	整備方針の作成
第5回 終了	10/19	整備計画案(グループ案)の作成
第6回	11/30 予定	整備計画案を各グループ案から ワークショップ案へ集約
第7回	1月 予定	ワークショップ案の決定 河川活動案の決定

### 第5回ワークショップの概要

#### 日時と集合場所

10/19(日) 14時～17時 麻溝公民館

#### 参加者

ワークショップメンバー：市民15名

主催者：相模原市河川整備課職員

スタッフ：コンサルタント(日本技術開発株式会社)

#### 当日のスケジュール

14:00- | 多自然川づくりの考え方の説明

14:40- | ワークショップの進め方の説明

14:50- | 整備の方針案と整備イメージ案の説明

15:00- | グループ討議

16:00- | 発表・意見交換

16:50- | 第6回ワークショップの連絡

### ワークショップの様子



▲メンバーと市の職員が意見交換

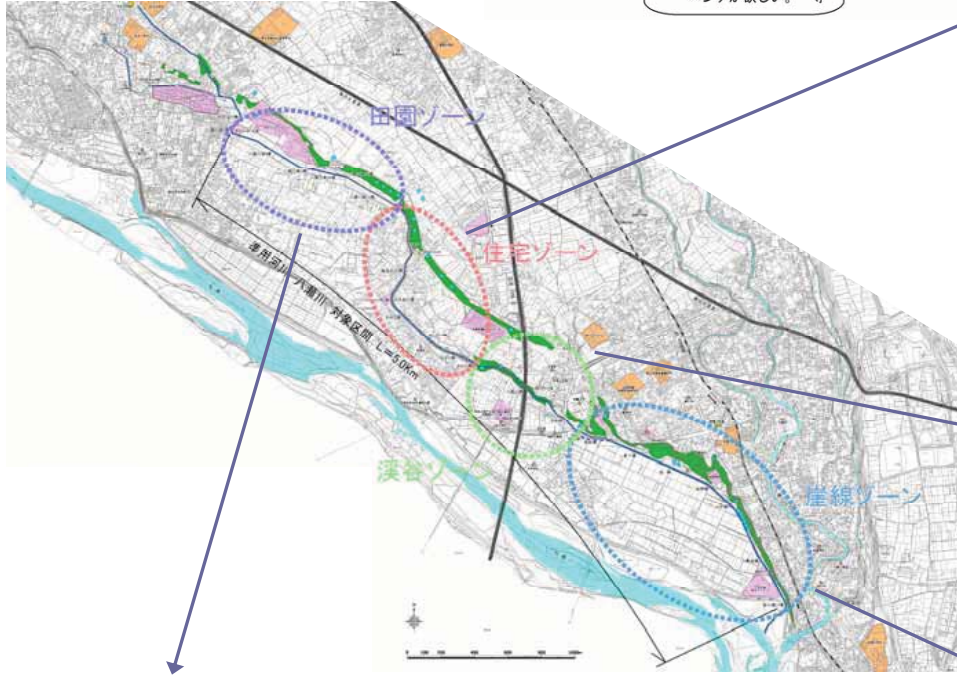
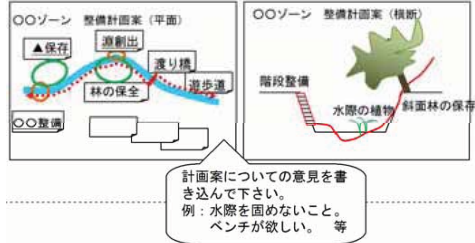
▲班ごとの整備イメージの検討

▲検討結果の発表

## 2.ワークショップの検討結果

第4回のワークショップで出された整備方針と整備イメージを踏まえ、今回も4つのエリアについて、班ごとに平面図と横断面図に示された整備計画案を見ながら整備イメージについて話しあいました。

グループ毎の発表では、特に渓谷ゾーンの護岸と管理用通路のあり方について、議論が交わされました。



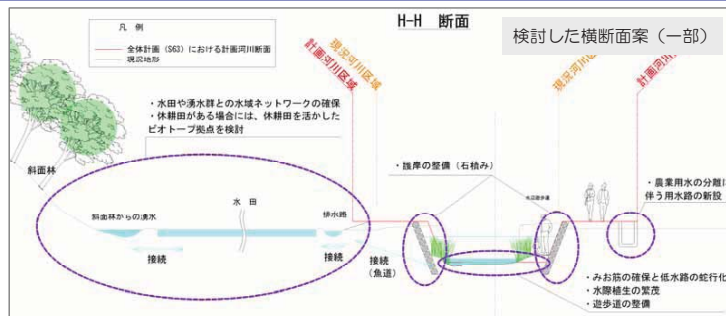
### 田園ゾーン

#### 整備方針案

斜面林と田んぼの原風景が懐かしい田園ゾーン

#### 整備イメージに関する主な意見

- ・休耕田を復活できる仕組みが必要である
- ・取水堰の統廃合後、農業用水を確保できるか検討すべき
- ・田んぼから漏水しないよう対策する
- ・石積み以外の方法はないか検討すべき



- ・田園風景をいつまでも残したい
- ・子供が素足で入れるような川にする
- ・ホテルの里になるような場所にする
- ・ナマズ等が田んぼに行ける魚道をつくる

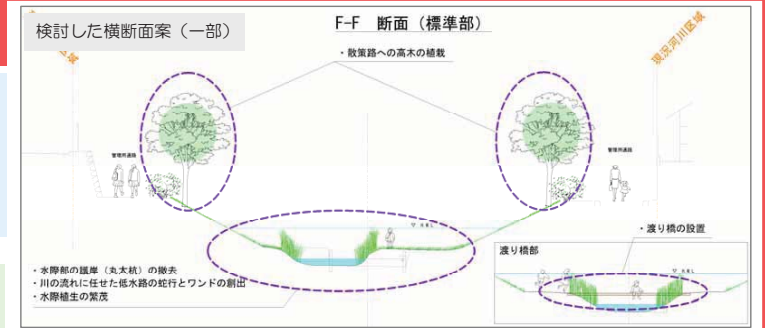
### 住宅ゾーン

#### 整備方針案

生き物にやさしく、子どもの声にぎわうゾーン

#### 整備イメージに関する主な意見

- ・ところどころワンドをつくる
- ・渡り橋は木造で、流れないようにする
- ・魚道を設置する
- ・法面勾配を緩くし、川幅を広げる



- ・散策コースをつくり、向原遺跡とつなげる
- ・生活排水が入らないようにする
- ・低水路護岸を壊して川を自由に蛇行させる
- ・河畔林を自生種にする

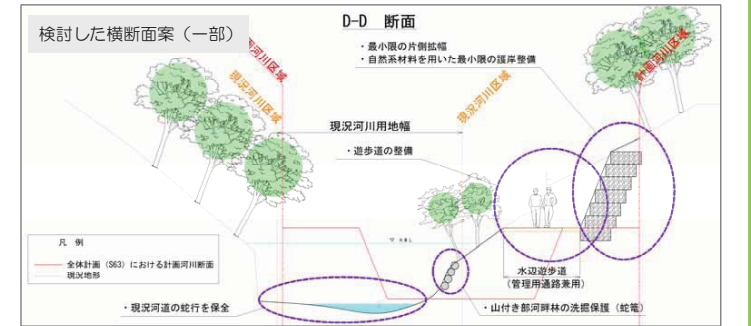
### 渓谷ゾーン

#### 整備方針案

自然景観の保全により、市民が楽しむ渓谷ゾーン

#### 整備イメージに関する主な意見

- ・光が入るように適度の間伐をする
- ・斜面林の中を歩けるようにする
- ・管理用通路は必要だが、作り方を工夫する
- ・遊歩道はできるだけ狭くし、川から少し離す
- ・おまちの滝は箱樋を含めそのまま保全する



- ・水がよくぶつかる岸は護岸をつくる
- ・管理用通路、蛇かご、護岸工事はいらない
- ・階段ではなくスロープにする
- ・枯れた竹を整理する
- ・蛇かごには自然な材料を使う

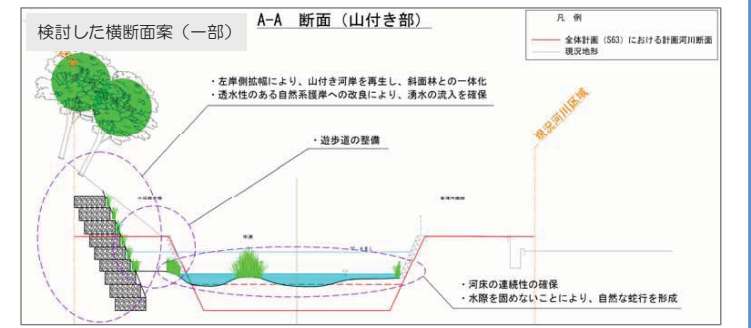
### 崖線ゾーン

#### 整備方針案

斜面林と水辺が隣接する崖線ゾーン

#### 整備イメージに関する主な意見

- ・斜面林の中を歩けるようにする
- ・ワンドの必要性を検討する必要がある
- ・中洲は自然なままがよい
- ・子供が落ちないようにフェンスをする



- ・相模川との合流部は自然の河床にする
- ・護岸工事と遊歩道はいらない
- ・階段は景観が悪いので、緩斜面にする